

交流センターだより



大歳地域交流センター
公式X(Twitter)アカウント

No.186
令和6年
9月号

おおとし

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 14,068 世帯数 7,016
開館時間 8時30分~17時15分 (行政窓口 TEL 922-2461) 令和6年8月1日現在

第38回おおとし夏まつりを開催しました!

おおとし夏まつりを8月3日(土)に開催しました。ステージ出演や模擬店など、様々な催し物でお祭りが盛り上がりました!ご協賛いただいた皆様、まつりの運営に携わる地元企業、地域有志、地域団体の皆様、ご来場の皆様には心から感謝申し上げます。



第1回大歳地区ペタンク大会を開催します! 大歳地区バドミントン大会を開催します!

下記の日程で大歳地区ペタンク大会を開催します。奮ってご参加ください。

日時: 9月22日(日)
9時00分~11時00分
※集合時間は8時30分
場所: 大歳小学校グラウンド
対象: 大歳地区住民で60歳以上の高齢者
申込方法: 9月10日(火)までに氏名、自治会名、年齢、連絡先を大歳まちづくり協議会(☎920-1700)へ連絡してください。
持参物: 戸外で運動できる服装、帽子、タオル、飲み物

*当日はマスクの着用をお願いします。

下記の日程で大歳地区バドミントン大会を開催します。分館対抗戦と個人戦がありますので奮ってご参加ください。

日時: 9月29日(日) 開会式8時30分~
場所: 大歳小学校体育館
競技種目: 分館対抗の部(男子・女子・混合ダブルス)、クラス別による個人の部(混合ダブルス)
問い合わせ: 大歳体育振興会
(大歳地域交流センター内)
(TEL 922-4035)

※出場希望の方は各地区分館長・体育委員さんに9月2日(月)~9月17日(火)までに直接お申込みください。なお、申込先がわからない方は、大歳体育振興会事務局(TEL:083-922-4035)にご連絡ください。

大歳まちづくり協議会からののお知らせ

研修会を実施します

ちょっと待って！！ それサギかも？

内容 ①サギ被害の実態・背景と対策
②その食が明日のあなたに繋がっている

日時 10月4日（金）
10時00分～11時30分

場所 大歳地域交流センター 講堂
備考 非常食ほかプレゼントあり
主催 大歳まちづくり協議会 健康福祉部会
申込締切 9月27日（金）
申込先 大歳まちづくり協議会
(TEL 920-1700)

大歳地区社会福祉協議会からののお知らせ

福祉に関するなんでも相談

ふくまる相談室

相談料
無料

山口市地域福祉課が市内10カ所に開設している「ふくまる相談室」が定期的に出張してきます！
ご家族での困りごと、ご近所での困りごと、気になること、不安なこと心配ごとを専門の相談員へご相談ください。

ふくまる相談室

(浦内包括支援センター併設)

☎083-934-3333

平日 8:30～17:00

奇数月の
第2木曜日
9時～12時
定期的に行います

ちょっと
気になるのよ...



みんなの広場からののお知らせ

まだまだ暑い9月。クールシェアしましょう！
どなたでも参加OK。申込みは不要です。気楽にご参加ください！

★内容

- ・山口弁ラジオ体操
- ・ニュースポーツ モルック体験
- ・思い思いのかき氷を作って食べましょう！



★日時 9月14日(土)13時30分～15時00分

★場所 大歳地域交流センター 講堂

★参加費 100円

★連絡先 大窪:080-2904-8193

太陽クラブからののお知らせ

太陽クラブ9月のお知らせ☀

フォトグラファーによる写真撮影会！

公園で遊んでいる姿を撮っていただき後日データをプレゼント📷

また、スマホや一眼レフでの上手な写真の撮り方も教えていただけます！

公園でシャボン玉遊びも出来ますよ☆

☀日時：9月20日（金）10時00分～

※雨天時は9月26日（木）に延期

☀内容：フォトグラファーによる写真撮影会

☀場所：坂東公園

※2台ぐらい駐車できますが、可能な方は大歳地域交流センターから歩いて行ってもらえたらと思います☺

☀参加費：無料

☀持ち物：スマホ、飲み物など

☀募集人数：未就園児の親子5組程度

☀申込期限：9月13日（金）まで

☀申込先：水原（090-4897-5649）

母推さんの子育て応援講座

9月は防災講座です。突然の災害に乳幼児のいる家庭では困ることがいっぱいです。いざという時のために一緒に考えてみませんか。

日時：9月11日（水）
10:00～11:00
(受付9時30分～)

場所：大歳地域交流センター 和室

講師：日赤山口県支部職員

対象：乳幼児を持つ保護者

定員：10組程度

申込先：大歳地域交流センター
(TEL 922-4035)

9月2日（月）から受付開始



山口市保健センターからのお知らせ

～運動を始めたいあなたへ提案です！歩く習慣をつくりませんか？～
「歩数アップサポート」に参加しませんか？



山口市健康づくり
 推進キャラクター
 けんぞう

期間限定の取り組みで、生活の中で、無理なく歩数アップできるよう応援します。
 やまぐち健幸アプリでの参加で、簡単にチャレンジ！

詳しい取り組み方法や、プレゼントの条件は歩数アップサポートで検索！

やまぐち健幸アプリの
 ダウンロードはこちら



■対象者 新規参加者限定

18歳以上の市民及び市内に在勤・在学の方のうち、定期的な運動習慣がない方

■参加費 無料（ただし、アプリ利用にかかる通信料、記録の提出にかかる料金は参加者負担）

■チャレンジ期間 10月1日（火）～12月31日（火）の3か月間

■申込期間 9月30日（月）まで

■申込方法

下記の二次元コードか、受付窓口に設置の申込書に必要事項を記入し提出してお申し込みください。

■受付窓口 各保健センター、各地域交流センターおよび分館

市申込フォーム

■問い合わせ



山口市保健センター（健康増進課） 電話 083-921-2666

E-Mail kenko@city.yamaguchi.lg.jp

小郡保健福祉センター 電話 083-973-8147

秋穂保健センター 電話 083-984-8031

阿知須総合支所 電話 0836-65-4211

徳地保健センター 電話 0835-52-1114

阿東保健センター 電話 083-956-0993



【大歳地区9月の行事予定】



- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 2日(月) 燃やせないごみの日 | 20日(金) 子育て支援サークル 太陽クラブ(10:00～) |
| 6日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00) | ぶっくん来館日(15:20～16:00) |
| 11日(水) 母推さんの子育て応援講座(10:00～11:00) | 22日(日) 地区ペタンク大会(8:30～) |
| 12日(木) 金属・小型家電製品ごみの日 | 26日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①) |
| ふくまる相談室(9:00～12:00) | 28日(土) 交流列車おとしまつり |
| 14日(土) みんなの広場(13:30～15:00) | 29日(日) 地区バドミントン大会(8:30～) |
| 18日(水) びん・缶ごみの日 | 30日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②) |
| 20日(金) パソコン相談(受付 10:00～10:30) | ※木曜日はプラ容器包装分別収集 |



大内氏と対外貿易 その2 朝鮮貿易

朝鮮貿易の拠点は大博多で、幕府や「巨獣」と呼ばれた有力大名が交易船を整え、私貿易用の船が後に従う貿易船団として出発しました。明との貿易ほど貿易規制の厳しくない朝鮮貿易では、朝鮮に近くて情報の得やすい博多が圧倒的に優位を占めたのでしょう。

当時の朝鮮貿易で驚くのは「大蔵経（一切経ともいう）」の取得を第一の目的とした幕府や諸大名の貿易船が多い事です。大蔵経とは仏教典全集ともいうべきもので、釈迦の教えを伝える「教」、僧侶の生活規範を説いた「律」、「教」の注釈書である「論」からなる5千巻にも及ぶ全集です。大蔵経の編纂事業はあらゆる仏典を集め、誤りを正し、必要な資料をもれなく収集する国家的大事業で、しばしば国を傾けるとさえ言われましたが、仏教王国・高麗では何度か、こうした事業が行われ、せっかく編纂・刊行したのに元の支配下ですべて破却されるといった悲劇にも見舞われました。しかし1236年から16年間かけて再び編纂事業が行われ、印刷もされて、高麗大蔵経として出回り、大蔵経典としては最も高い評価を受けました。これを求めてたくさんの貿易船が日本から朝鮮へわたり、公的支援がなければ、手に入りにくいと、訪朝目的の第1に掲げられたのだと思われます。大内氏も大蔵経を何部か手に入れ、その内の1つは大内盛見の菩提寺であった国清寺（現在の洞春寺）の八角形のお堂の中に収められていました。しかし、毛利輝元によって1602年圓城寺（三井寺で知られている）に寄贈され、洞春寺には八角堂の土台が残るのみとなっています。1392年、高麗王朝が倒れ、儒教に重心を移した李王朝に代わったため、大蔵経の確保は大変困難な事業となっていったようです。

日本からは硫黄（火薬の原料）や刀剣、扇子、銅（銀の精錬技術が広がると急速に銀に変わる）などが輸出され、朝鮮から大量の綿布類が輸入されました。柔らかくて肌触りが良く肌着や普段着として最適な綿布への需要の爆発的な広がりがあったようです。やがて三河で綿花の栽培が始まり、それは東海から近畿一帯に広がり、江戸時代には綿花栽培は最大の商品作物となっていきます。井原西鶴は綿花を栽培して、それを売って米を買って年貢を支払う農民の姿を描いています。しかし幕末の世界貿易の開始とともに、安いインド産綿花の流入で日本での綿花栽培はほぼ絶滅します。工場制工業の先駆となった綿織物は港近くの工場では輸入綿花を原料に綿布を生産するようになります。そうした有為転変を考えさせる朝鮮との貿易でした。

（大歳史談会 文責 武波義明）



洞春寺（かつての国清寺）の大蔵経を収めた八角堂の中心柱の台石